

令和5年度 保険福祉部運営方針

部局名 : 保険福祉部

部局長名 : 松下 良

基本方針（政策目標）

福祉施策における本市独自の取組みや特徴のある事業内容等を市内外に向けてPRするとともに、継続して求められる各種福祉施策を充実し、保険事業等を安定的かつ適切に実施することにより、孤独・孤立に陥っている人や生活困窮者、高齢者、障がい者など全ての市民の尊厳を守りつつ、誰もが住み慣れた地域社会で安心して暮らすことができるよう、以下の主要事業に取り組んでまいります。

- ① 孤独・孤立の問題を解消するため、官民連携によるオール泉大津での取組みとして、民間ノウハウを活用した新たな居場所づくりを進めます。また、昨今、増加傾向にある若年層や女性の自殺リスク低下をめざし、9月の自殺予防週間にLINEによる相談窓口を開設し、特に若年層と女性の悩みや不安を気軽に相談できる体制を整備します。さらに市内3中学の1年生を対象に、命の危機等に直面したとき、誰にどのように助けを求めればよいのかなどの具体的かつ実践的な方法や、つらいときや苦しいときは助けを求めてよいということを学ぶ「SOSの出し方に関する教育」を実施します。
- ② 健康寿命の延伸を目的に、高齢者の身体・認知機能の維持・向上に向けて、あしゆびプロジェクトをはじめとした介護予防事業の充実を図るとともに、東京大学先端科学技術研究センターと連携した認知症予防改善プログラムの開発や高齢者等補聴器購入費用助成事業の開始など、認知症予防・改善への取組みや認知症の早期発見・早期対応の重要性についての啓発を行うことにより、介護予防・重度化防止を推進します。また、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。
- ③ 個々のニーズに応じた適正な障がい福祉サービス等を提供することにより、障がい者や障がい児が地域社会の一員として人権が尊重され、自己選択と自己決定のもとで、日常生活又及び社会生活を営むことができるよう支援します。ま

た、障がいの有無に関係なく、地域で生活することができる共生社会を実現していく一環として、市内の事業所のバリアフリー化促進に助成を行い、誰もが利用しやすい地域づくりを進めるとともに、ろう者に対する意思疎通支援の拡充とろう者や手話について市民の理解を促進するための啓発を行います。

- ④ 生活保護制度の周知により一層努めるとともに、不正受給の防止を図ります。また、被保護者の自立に向けた就労支援を強化し、医療費適正化による生活保護費の縮減を推進します。
- ⑤ コールセンターに加え、口座振替の案内を保険料通知に同封することで、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の口座振替を勧奨し、納付の遅れや遅れを防ぐことで、保険料の公平・公正な負担の実現を図ります。また、大阪府の健活サポートアプリ「アスマイル」に泉大津市独自ポイントを設定し健康力の向上を推進します。